

# 笑顔あふれるまち田代

— 田代地区まちづくり推進計画 —



田代地区まちづくり  
推進協議会

## 田代地区まちづくり推進計画策定にあたり

田代地区まちづくり推進計画を刊行するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

小学校区を単位とした新しい住民自治組織として平成23年6月に「田代地区まちづくり推進協議会」が発足しました。

この組織は、地域のまちづくりについて地域の皆さんで考え、地域の長所の活用策や課題解決に取り組んでいく組織です。

昔は「向こう三軒両隣」といって、近所付き合いは当然としてお互いが助け合ってきた良き習慣があり、そこには、信頼と安心によって結ばれた人間関係が存在していました。

まちづくり推進協議会の活動は、人間関係の希薄化により、失われつつある「おかげさま」「おたがいさま」を見直し、再構築するチャンスだと思います。

ここに、田代地区まちづくり推進計画を策定し、10年後を見据えた活動を計画しました。笑顔あふれる歴史と文化のまち田代地区として、住んで良かったと思える地域にするための計画書です。

田代地区の長所の活用策や課題解決に向け、私たちにできることを考え、私たち自身で実践していきます。

この計画を目標として掲げ、地域に住む皆さん一人ひとりが、まちづくり推進協議会の一員として、「おかげさま」「おたがいさま」の気持ちでできる範囲で協力し、皆さんの趣味や特技を地域活動で発揮していただきたいと思います。

計画は、いかに実施し推進するかが重要ですので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

最後になりましたが、長い間ご審議いただいた皆さんに、心より感謝いたします。

会長 半田 紀久郎



表紙：作者 村山直子さん（田代本町在住）

大きな木は、田代地区のシンボル「いこいの木」です。地面の下には、田代太田古墳、赤坂の鉄道橋をモチーフにあしらいました。

田代地区にお住まいの皆さんの「笑顔の和・きずな」が重なり、広がっていくことを願います。

目 次

1 まちづくり推進計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 田代地区の姿

(1)田代地区ってこんなところ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

①田代地区の概要

②人口

③行政区

④地域を特色づけるもの

(2)田代地区のまちづくりを考えるアンケート・・・・・・・・ 5

(3)田代地区現況マップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

3 田代の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

(1)田代を特徴づけるもの

(2)ふれあい・交流のシンボル

(3)まちづくりのキーワード

(4)まちづくりの基本理念

(5)将来像

4 まちづくり推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

(1)みんなで支え合い安全・安心な田代を創ろう！

(2)顔の見える絆で賑わいのある田代を創ろう！

(3)笑顔で心身ともに健康に暮らせる田代を創ろう！

(4)生涯を通じ楽しく学べる田代を創ろう！

(5)地域で子ども達を守り育てる田代を創ろう！

(6)環境にやさしい美しい田代を創ろう！

5 まちづくり推進計画の実現に向け・・・・・・・・・・・・ 16

6 まちづくり推進計画推進体制・・・・・・・・・・・・・・ 17

7 まちづくり推進計画一覧表・・・・・・・・・・・・・・ 18

8 まちづくり推進計画策定までの経過・・・・・・・・・・・・ 19



「田代地区まちづくり推進協議会の目的」

協議会は、田代地区を「歴史と文化のまちとして、人を守り、人を育て、人情味があふれ笑いの絶えない安全安心で絆のあるまち」とするために、様々な長所の活用や地域課題の解決を図り、地域住民一人ひとりが住んで良かったと思えるような地域社会を築くことを目的とします。

## 1 まちづくり推進計画とは

田代地区まちづくり推進計画とは、地区の現状と課題を踏まえ、10年後（2021年度）の田代地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、地域づくりの基本計画を整理したものです。

具体的な取組として、まず、地区の現状を把握するために、一部の世帯を対象としたアンケート調査や、地区住民による地域探索（まちあるきウォークラリー）を実施しました。地域の現状については、地域を特色づけるものとして写真で整理するとともに、田代地区の現況マップをまとめました。

次にアンケートを基に7つの主要課題を導き出し、この課題を解決するために、どんな地区をめざすのか、どんなことに取り組むべきかについて、将来像とまちづくり推進計画に分けて整理しています。

まず、10年後の将来像については、地区住民の心のよりどころとなるシンボルを明らかにした上で、まちづくりのキーワードをあげ、それらをもとに地域づくりの基本理念と将来像を整理しています。

次に、将来像が絵に描いたもちにならないように、みんなの力で実現に導くため、7つの基本テーマに基づくまちづくり推進計画を掲げています。

最後に、まちづくり推進計画を実施していくための体制を地域づくり体制として整理し、どのように取り組んでいったら良いのか、これからの進め方の中で具体的に述べています。

このまちづくり推進計画は、田代地区の基本計画となるものです。推進計画実現のため、決して人任せにせず、地区住民が絆を深めながら心を一にし、次世代の子どもたちが、「田代地区で育ち、住んで本当に良かった」といえるような、笑いの絶えない地域づくりをめざします。

なお、今後地域社会を取り巻く環境が大きく変化することも予想されますので、そうした急激な変化に対応するために、まちづくり推進計画を見直すことがあります。

計画の期間	2012年度（平成24年度）～2021年度（平成33年度）
-------	-------------------------------



## 2 田代地区の姿

### (1) 田代地区ってこんなところ

#### ①田代地区の概要

田代地区は、鳥栖市の北東部に位置し、南北にJR鹿児島線をはじめ国道3号や県道17号久留米基山筑紫野線、東西に長崎自動車道や国道34号が走り、大木川が流れています。

田代という地名は、「高所の湿地をなす小平地に田を新しくこしらえた所」という意味で、中世に開発された所に多く付けられている地名です。

田代地区には古くから人が住みつき、とくに柚比・今町一帯では弥生時代に谷あいに水田を開き、墳丘墓がある大規模な集落ができ、当時の先進技術である安永田青銅器工房では銅矛・銅鐸などがつくられ、遠くは山陰地方まで運ばれていました。古墳時代のはじめには九州でも指折りの古さを誇る赤坂古墳がつくられ、6世紀代には長さ60～80mの前方後円墳が4基、豊かな装飾をもつ田代太田古墳などがつくられています。

またこの地区は、九州北部を東西南北にはしる昔からの交通要衝地です。古代には肥前道が南西方向に通り抜け、中世には当時の主要路である秋月街道の肥前国への出入口にあたり田代町が形成されています。江戸時代は良く知られているように長崎街道の宿場町でもあり、対馬藩田代領の代官所の置かれた町でもありました。田代領では配置売薬が盛んで、現在の鳥栖市の主要産業でもある製菓業につながっています。

明治22年(1889)の市町村制施行では、大字永吉・柚比・田代・神辺・萱方で田代村に、昭和11年(1936)には田代町となり、昭和29年(1954)他の4町村と合併し鳥栖市の一部となっています。合併頃の1950年代は、世帯数1,018戸・人口6,036人でしたが、平成21年では世帯数3,873戸・人口10,494人(神辺・萱方除く)となっています。

(鳥栖郷土研究会 藤瀬禎博さん)



青銅器工房の安永田遺跡



豊かな装飾の田代太田古墳(模写絵)



日田・秋月へつながる昌町追分け石



長崎街道の面影を残す田代外町の通り

②人口

地区の人口は11,521人（平成24年3月末）で5年前に比べ3,207人増加しています。人口増の理由の一つに、弥生が丘3区の人口増があげられます。

高齢化率は16.2%で、ほぼ6人に1人が65歳以上の高齢者となっていますが、行政区によっては既に3人に1人が65歳以上の高齢者となっているため、来るべき高齢化社会に向けて、団体間の横の連携を深める必要があります。

また、若い世代が多い弥生が丘3区も、数十年後一気に高齢化が訪れるため、今から魅力あるまちづくり行う必要があります。

③行政区

田代地区には14の行政区があります。

田代昌町	田代新町	田代上町	田代外町	田代外町住宅区
田代大官町	田代本町	永吉町	今町	柚比町
加藤田町	弥生が丘東区	弥生が丘中央区	弥生が丘南区	

④地域を特色づけるもの

◆行事関連



とす弥生まつり



長崎街道まつり



八坂神社奉納祭



田代地区文化祭



寅年太田山観世音菩薩御開帳稚児行列



チャレンジ塾



田代地区運動会



まちあるきウォークラリー

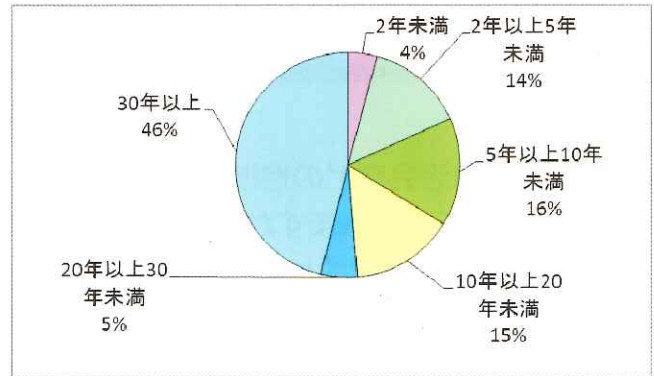


ふれあいグラウンドゴルフ大会

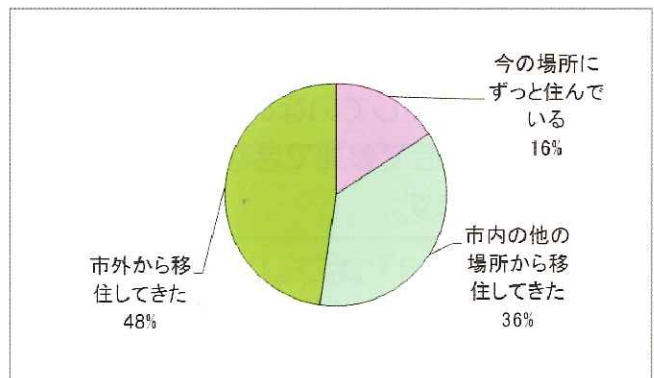
(2)田代地区のまちづくりを考えるアンケート

田代地区の現状と課題を把握するために、平成23年9月に一部の世帯を対象にアンケート調査をしました。576世帯のうち476世帯から回答が得られ、回答率は約83%でした。以下では、アンケートの中から主要な質問を抽出し、その結果を紹介します。

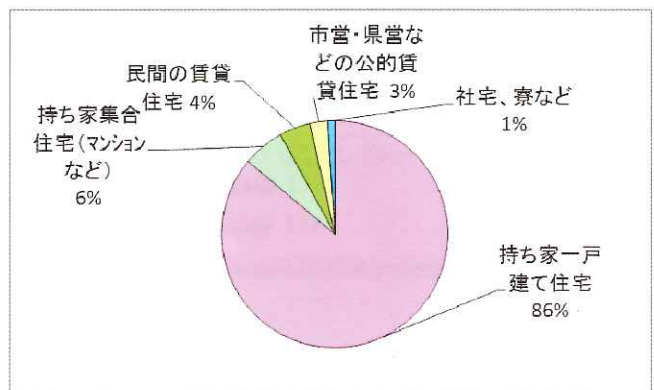
◆「地区内に住んで何年になりますか」という質問に対しては、「30年以上」が46%でトップとなっている一方で、年数が短い方も多いことが分かります。古くから受け継がれてきた地域の伝統と新しい時代の風の融合を図ることが重要です。



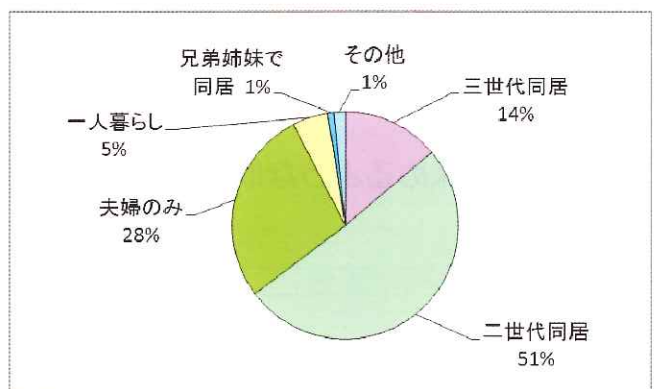
◆「ほかの場所から移住されましたか」という質問に対しては、「市外から移住してきた」「市内のほかの場所から移住してきた」を合わせると、84%を占めています。交流を深めながら、地域の良さを伝えていく必要があります。



◆「現在の住まいについて」という質問については、「持ち家一戸建て」「持ち家集合住宅」を合わせると、92%を占めています。昔からある「向こう三軒両隣」のように、信頼と安心によって結ばれた人間関係を構築することが大事です。

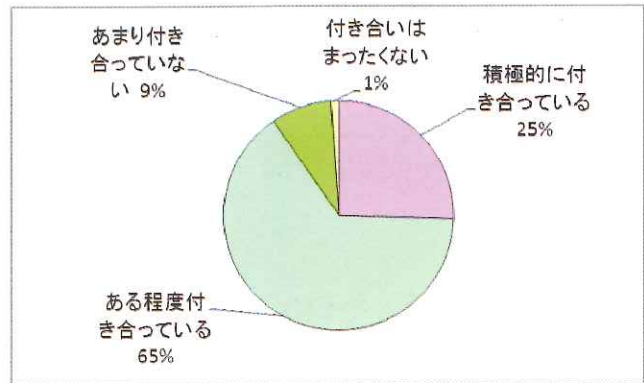


◆「家族構成について」という質問については、「二世帯同居」が51%で約半分を占めています。今後、高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者の一人暮らしが増えることが予想されます。地域全体で見守る体制作りが必要です。



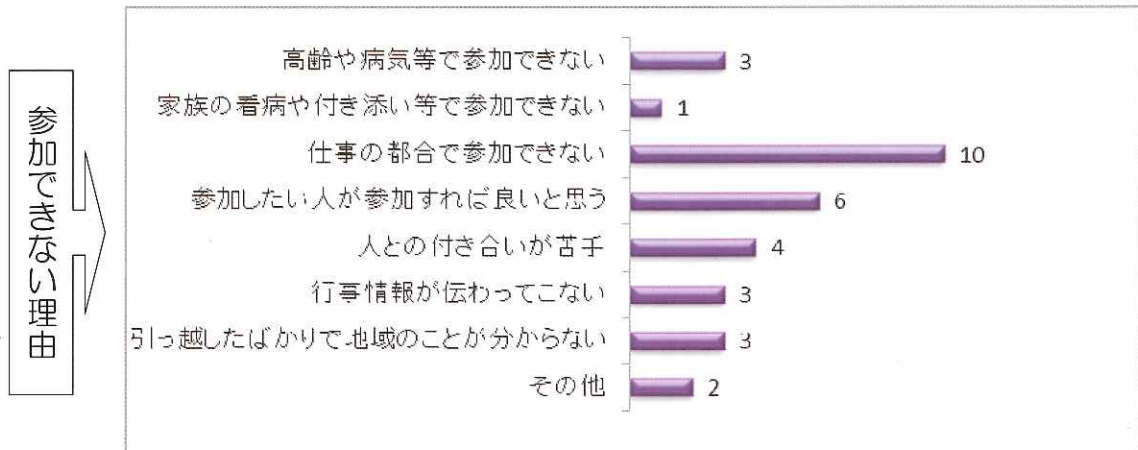
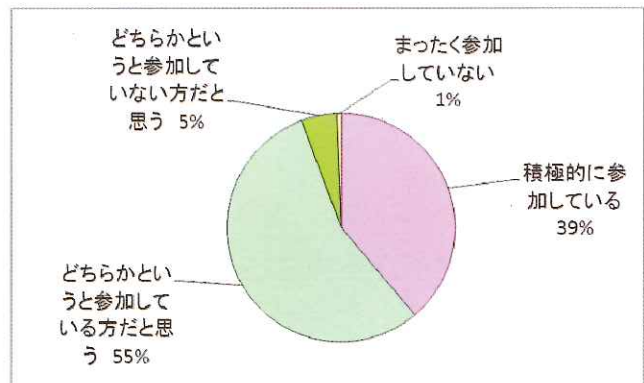
◆「近所づきあいをどの程度行っていますか」という質問に対しては、「ある程度つきあっている」が65%でトップとなっています。

更に近所づきあいを密にし、強い絆でつながるまちづくりが求められます。



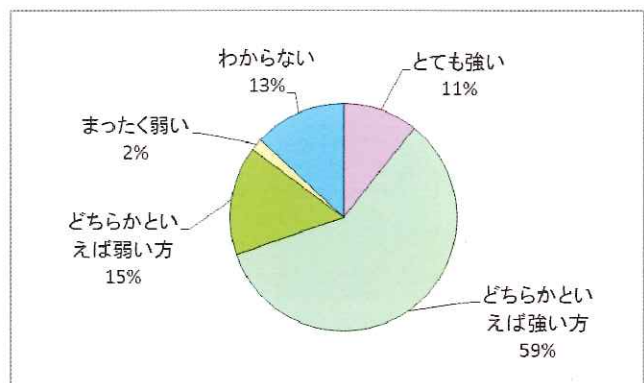
◆「地区や自治会などの地域行事に参加している方だと思いますか」という質問に対しては、「積極的に参加している」「どちらかというに参加している方だと思う」を合わせると94%を占めています。

また、「参加していない方だと思う」「まったく参加していない」理由としては「仕事の都合で参加できない」が大半を占めています。



◆「人と人との結びつきが強いところだと思いますか」という質問に対しては、「とても強いところ」「どちらかといえば強い方」を合わせると70%を占めています。

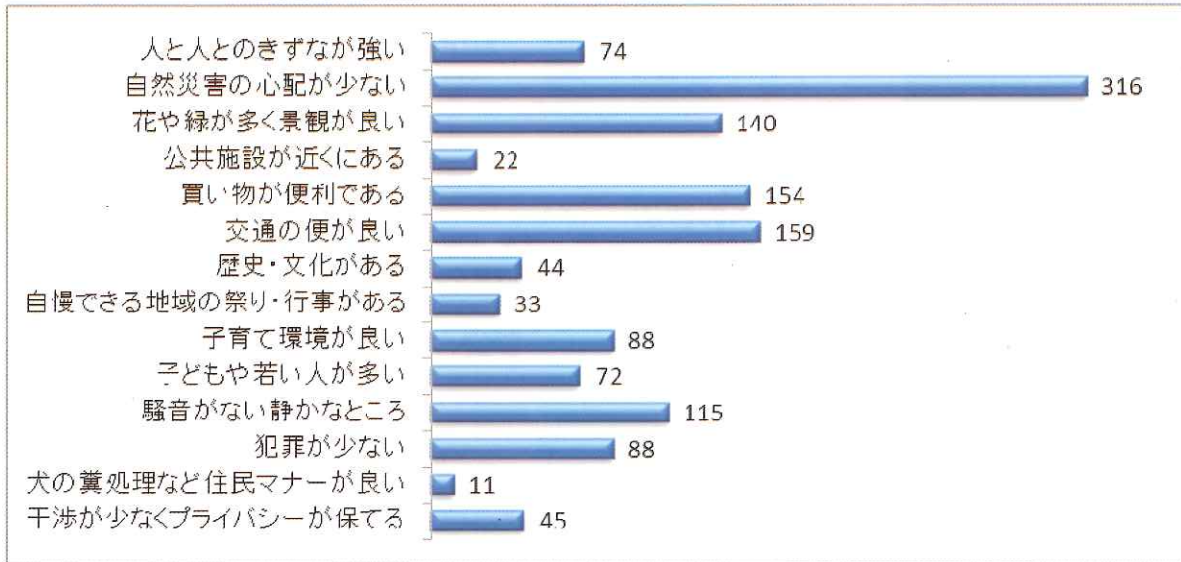
更に絆を深めるような取組が求められます。





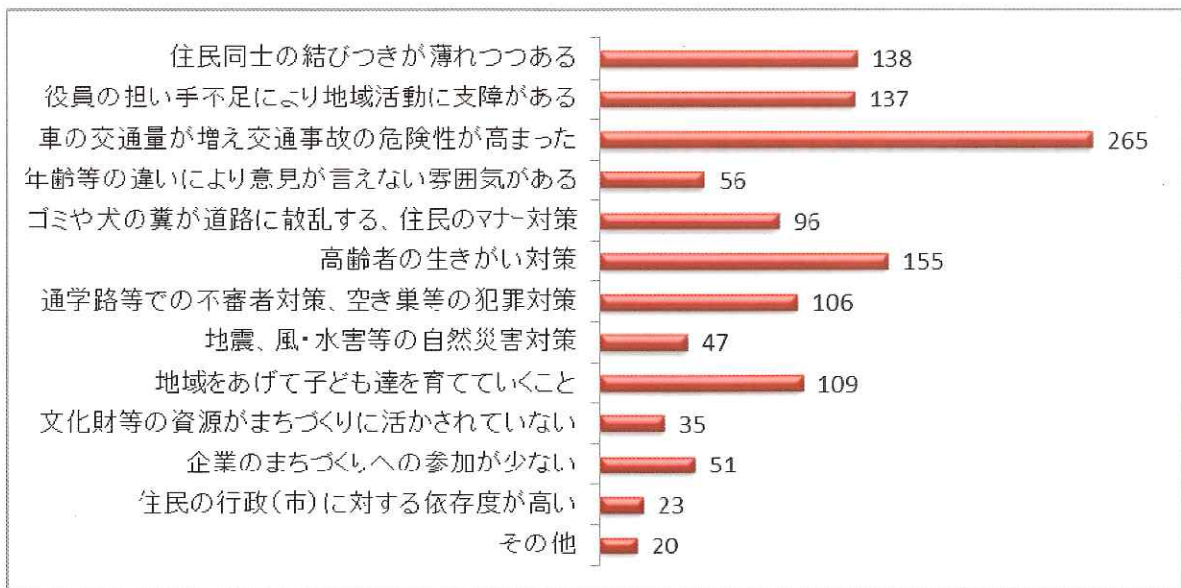
◆「地区の長所はどんなところですか」という質問に対しては、「自然災害の心配が少ない」がトップであり「交通の便が良い」「買い物が便利である」が続いています。

自然災害が少ないことは、とてもいいことですが、一方では災害に対する意識が低いことが課題として挙げられます。非常食の備えや避難場所の確認などについて、日頃から家族や近所の方々と話し合うことが必要です。 (複数回答)



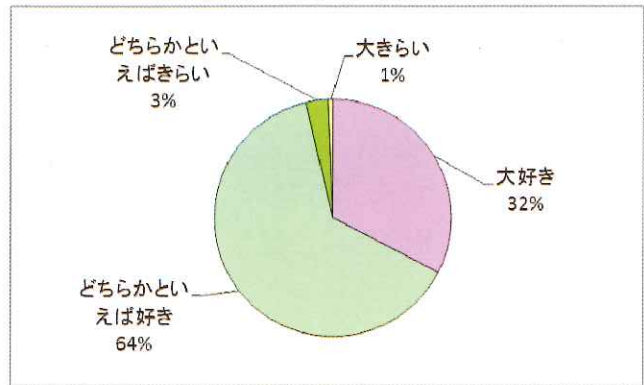
◆「地区が抱える主な課題は何でしょうか」という質問に対しては、「自動車の交通量が増えた」が他を大きく引き離しトップであり、「高齢者の生きがい対策」「住民同士の結びつきが薄れつつある」が続いています。安全安心、コミュニティの希薄化が大きな課題であることが分かります。

地域の課題を十分に認識・把握するとともに、私たち地域住民にできることを考える必要があります。 (複数回答)



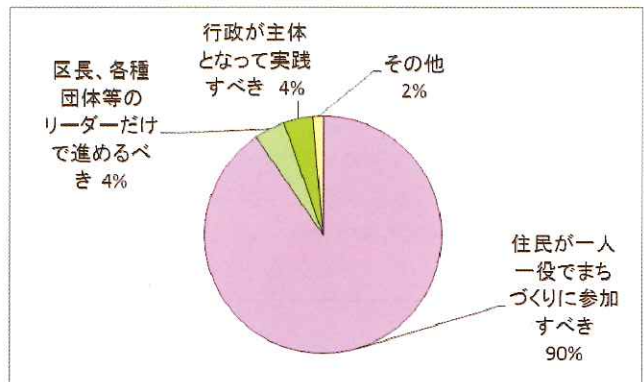
◆「今の地区が好きですか」という質問に対しては、「大好き」「どちらかといえば好き」をあわせると96%を占めています。

住民一人ひとりが、心から「大好き」「田代地区で育ち、住んで本当に良かった」といえるまちづくりが求められます。



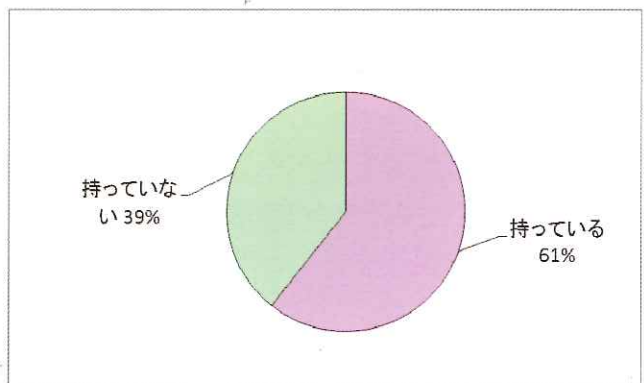
◆「一人一役によるまちづくりへの参加をどう思いますか」という質問に対しては、「できるときに、できることを、できる範囲で、一人一役で参加すべき」が90%を占めています。

みんなが小さな力を合わせ、大きな力を生み出すことが期待されます。



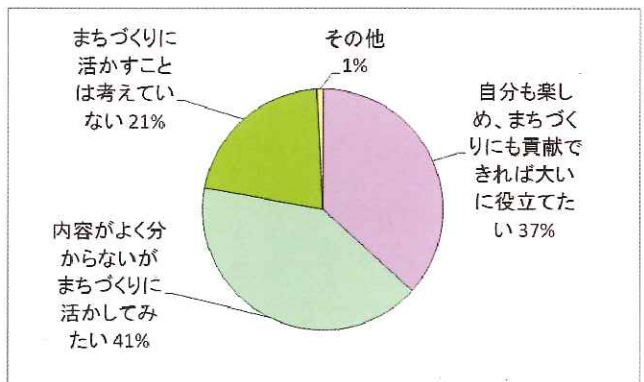
◆「趣味や特技をお持ちですか」という質問に対しては、「持っている」が61%を占めています。

地域にはいろんな特技や趣味を持っている人材がたくさん眠っているということが分かります。



◆趣味や特技を持っている人のうち「趣味や特技をまちづくり活動に活かすことについて」という質問に対しては、「自分も楽しみ、貢献できれば大いに役立てたい」が37%「活かせることがあれば活かしてみたい」が41%であり、合計78%の方が前向きな回答でした。

今後、趣味や特技をまちづくりにどう活かしていくのかを検討していく必要があります。



田代地区現況マップ



1 田代小学校



2 弥生が丘小学校



3 田代中学校



20 鳥栖ジャンクション



21 JR 田代駅



22 JR 弥生が丘駅



4 田代まちづくり推進センター



5 田代まちづくり推進センター分館



6 田代太田古墳壁画



7 ヒャーガンサン古墳壁画



8 柚比本村遺跡出土漆鞘復元品



9 安永田遺跡出土銅鐸鑄型



10 田代外町追分石



11 田代昌町追分石



12 代官所通用門 (個人宅)



13 赤坂の鉄道橋



14 庚申堂塚古墳



15 剣塚



16 赤坂古墳



18 八坂神社



19 足洗川



23 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター



24 田代公園



25 鳥栖プレミアム・アウトレット



26 くすり博物館



27 いこいの木



17 東明館跡



28 榎並木

### 3 田代の将来像



#### (1) 田代を特徴づけるもの

##### ■ 鳥栖ジャンクション

九州を南北縦断する九州自動車道と、九州を横断する長崎自動車道・大分自動車道を接続する、東洋一の規模を誇るジャンクションで、上から見ると幸せを呼ぶクローバーにも見えます。九州自動車道と長崎自動車道をつなぐ橋は、「サガンクロス橋」と呼ばれています。ジャンクションは、異なる四方向の人が手を結び交流することから、地域住民の絆づくりにも応用可能です。また、これらの自動車道は九州各地とつながっていることから、域外との交流・連携にも応用可能です。

##### ■ 長崎街道田代宿

田代は、江戸時代、対馬藩 1 万 3 千石の田代領の政治の中心であり、宿場町でした。ここには、代官所や藩校の東明館、幕府の高札場、問屋場、上使屋がありました。また、ここを通る人々の旅日記に「人家500軒ばかり」「茶屋、宿屋多し」と記していることから賑わっている様子が伺えます。田代領の町場として田代町のほかに瓜生野町があり、酒屋、麴屋、油屋、代官所の許可を受けた売薬人などの商人が多くあったようです。

##### ■ 中富記念くすり博物館

田代から基山町にわたる一帯は、慶長 4 (1599) 年に対馬藩田代領となり、江戸時代中期に「田代売薬」が起こったところです。地の利を活かし、長崎街道や薩摩道を経て西日本各地に売り歩き、以後、この地区に社会面及び経済面で大きな蓄積を残しました。先達の活躍に思いをいたすとともに、「くすり」の文化遺産を通してくすりに関する産業文化を後世の人々に伝え、これからのくすりと健康について考える生涯学習の場として設立されています。

##### ■ 古墳・遺跡

田代には、田代太田古墳などの国指定史跡に代表されるような古墳や史跡が多数存在し、地区全体が歴史資源の宝庫となっています。

#### (2) ふれあい・交流のシンボル

##### ■ 田代まちづくり推進センター〔公民館・老人福祉センター〕

田代地区市民が集まり、ふれあい交流し、絆が生まれる場となっています。

##### ■ 田代小学校、弥生が丘小学校、田代中学校

子どもは地域の宝。子どもを通じて、若い親から高齢者まで、互いにふれあい・交流し、子ども達を守っています。次世代を担う子ども達のためなら、若者から高齢者まで心が一つになります。

### (3) まちづくりのキーワード

- 安全・安心
- 地域資源の掘り起こしと活用
- 健康・スポーツ・学習
- 住民・企業によるまちづくり
- ふれあい・交流・連携
- 情報発信
- 土地利用
- 行政区・自治会の活性化 など
- 人と人との絆
- 子ども教育と子育て
- 地域づくり団体活動の活性化
- 環境・美化
- 地元学
- 個性あるまちづくり
- 行政との協働

### (4) まちづくりの基本理念

田代は、田代太田古墳などの国指定史跡に代表される古墳や遺跡の宝庫。江戸時代には長崎街道田代宿で賑わい、西日本各地に田代売薬を売り歩くなど、その昔、田代は笑顔あふれたおもてなしの心を持つ、売り込み上手な、ふれあい・交流人が暮らすところでした。現在は、東洋一の「鳥栖ジャンクション」が九州の各主要都市を結び、長崎方面には「サガнкロス橋」が架かるなど、今でも田代は、人と人、地域と地域をつなぐ拠点となっています。

このような田代の特徴ある歴史と文化、先人の精神や行動を今に引き継ぎ、幸せを呼ぶ「クローバー型鳥栖ジャンクション」をはじめ、人と人との絆を生む明日への架け橋「サガнкロス橋」や、全国でも珍しい薬専門の博物館「中富記念くすり博物館」を活かしながら、向こう三軒両隣の精神による、笑顔あふれる地域の絆を大切にしたい、ふれあいによる、安全安心な、元気な田代をめざします。

以上から田代地区がめざすべき、まちづくりの基本理念を次のように位置づけます。

『笑顔あふれる地域の絆で支えあい、

幸せの四つ葉のクローバー咲く、

田代まるごと幸せ博物館の創造』

### (5) 将来像

## 田代まるごと幸せ博物館



シンボルマーク（最優秀賞）  
下川ほのかさん（弥生が丘小）

## 4 まちづくり推進計画

田代地区が抱える主要課題別に、それぞれ将来像実現に向けての基本テーマを設定し、その基本テーマに沿って各種事業を展開します。

主要課題		将来像実現に向けての7つの基本テーマ
日常生活における不安の高まり	⇒	みんなで支え合う安全・安心な田代を創ろう！
人と人との結びつきが希薄化	⇒	顔の見える絆で賑わいのある田代を創ろう！
健康に対する不安	⇒	笑顔で心身ともに健康に暮らせる田代を創ろう！
地域をあげての生涯学習の推進	⇒	生涯を通じ楽しく学べる田代を創ろう！
子育てや青少年の健全育成	⇒	地域で子ども達を守り育てる田代を創ろう！
環境・美化の推進	⇒	環境にやさしい美しい田代を創ろう！
住民主役のまちづくりの実践	⇒	住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！

### 【田代に幸せ呼ぶ四つ葉のクローバー】



- ①安全安心な葉（場）：みんなで支え合う安全・安心な田代を創ろう！
- ②笑顔健康の葉（場）：笑顔で心身ともに健康に暮らせる田代を創ろう！
- ③生涯学習の葉（場）：生涯を通じ楽しく学べる田代を創ろう！
- ④美しい環境の葉（場）：環境にやさしい美しい田代を創ろう！

### 【絆を生む明日への架け橋】

- ①絆の橋：顔の見える絆で賑わいのある田代を創ろう！
- ②明日への架け橋：地域で子ども達を守り育てる田代を創ろう！

### 【幸せいっぱい詰まった博物館】

- 手づくり幸せ博物館：住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！

## 1) みんなで支え合い安全・安心な田代を創ろう！

### ■ 交通安全推進事業

交通教室、交通安全点検、交通立ち番、  
交通パトロール、県下一斉児童生徒の安全指導、  
安全安心まちづくりマップづくりなど



### ■ 防災関連推進事業

避難訓練、防災訓練、火災予防運動、消防車点検、  
防災パトロール、火災予防運動、田代ハザードマップ\*<sup>1)</sup>づくりなど

\*<sup>1)</sup>ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。予測される災害の発生日点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が既存の地図上に図示されている。

### ■ 防犯関連推進事業

防犯マップ作り、防犯ブザー点検、子ども110番の家活動（子どもの交流、子ども110番の家への避難訓練等）、防犯サインづくり、子ども見守りポスターづくり、田代系びす市校外補導、交通立ち番、防犯パトロール、独居高齢者の見守り、夜間巡回指導（夏休み）、年末警戒など

### ■ 暮らしの安全安心推進事業

市消費生活センターの出前講座、消費生活啓発活動など



## 2) 顔の見える絆で賑わいのある田代を創ろう！

### ■ あいさつ運動推進事業

田代あげてのあいさつ運動（あいさつ推進員、あいさつ推進曜日、あいさつ標語、あいさつ通り、あいさつスポット等）

### ■ にこにこふれあい交流事業

囲碁将棋大会、ふれあい会食会、敬老会、ふれあいもちつき会、誕生会、企業との交流など

### ■ 田代の行事・イベント活性化事業

田代の行事・イベントカルテの作成、カルテにもとづくイベント・行事の有効性の点検、長崎街道まつりや弥生まつりの活性化など

### 3) 笑顔で心身ともに健康に暮らせる田代を創ろう！

#### ■ 健康づくり推進事業

ラジオ体操、まちあるきウォークラリー、ウォーキング（健康ウォーク、アートウォーク、学習ウォーク等）など

#### ■ スポーツ推進事業

グラウンドゴルフ大会、ふれあいグラウンドゴルフ大会、スポーツ教室、体育大会、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、凧揚げ大会など

#### ■ 食育推進事業

野菜栽培、食育事業、ふれあいもちつき会、豆腐作り、健康料理教室、中高年男性料理教室、伝統料理教室、親子食育教室、高血圧予防料理教室、男性のための料理教室、夏休み健康料理教室、食の文化祭など

#### ■ 笑顔推進事業

笑顔の写真展、田代スマイル推進員（推進員設置、研修会、スマイル普及活動）など



### 4) 生涯を通じ楽しく学べる田代を創ろう！

#### ■ 地域の匠マイスター事業

地域の匠マイスターの登録（人材バンク）、ひとづくりなど

#### ■ 趣味や特技を活用したまちづくり事業

一人一役地域づくり（人材登録、人材の活用、田代一人一役宣言等）、家庭科指導、読み聞かせ、ひとづくりなど

#### ■ 歴史・文化を活かしたまちづくり推進事業

歴史・文化のマップづくり、歴史案内ボランティア（育成、案内等）など

#### ■ 地元学推進事業

歴史教室、町探検、史跡探訪、地域資源の掘り起こしと活用、地元ものしり認定など

#### ■ 伝統・文化継承事業

凧作り、門松作り、昔遊びなど





## 5) 地域で子ども達を守り育てる田代を創ろう！

- おじいおばあの知恵袋事業  
子育てや料理など生活の知恵の伝授など
- 伝承遊び事業  
昔遊び交流、凧作り、門松作りなど
- 地域子育て支援事業  
読み聞かせなど
- にこにこあいさつ推進事業  
子どもに対するあいさつ運動など
- 子ども健康づくり推進事業  
小学生とラジオ体操など
- 地域の宝育成事業  
ノーテレビ・ゲームデー、あいさつ運動、人権学習など



## 6) 環境にやさしい美しい田代を創ろう！

- 環境美化モラルアップ推進事業  
環境パトロール、環境マップ作り(ごみマップ含む)、わんわんパトロール、環境教育、草刈、ごみステーションアイディア美化の推進、5m 庭先清掃運動など
- 地域一斉清掃事業  
全国一斉奉仕活動、環境美化作業、PTA美化作業など
- 景観向上事業  
一家一美運動、花植え(プランター、花壇)、花いっぱい運動、花や木の里親制度、田代景観マニュアルの作成、田代景観十景など



## 5 まちづくり推進計画の実現に向けて

～住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！～

- 絵に描いた餅に終わらないように、プロジェクトごとに主体となる組織を明確にし、短期・中期・長期のスケジュールを立てる。
- 田代地区住民一人ひとりがこのまちづくり計画を理解し、誰もが、できるときに、できることを、楽しく無理なく実行できるように。
- 市内外の他地区とのまちづくり姉妹（兄弟）地区の提携
- 田代地区まるごと文化祭
- まちづくりリーダー育成講座
- まちづくり学芸員
- 土地利用の検討
- 企業のまちづくりへの参加
- 自治会の活性化
- まちづくり計画の実行チェック
- 田代地区のまちづくり情報発信
  - ・ホームページによる情報発信
  - ・まちづくり通信による情報発信
  - ・SNS<sup>\*1)</sup>（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報発信
- フェイスブック<sup>\*2)</sup>等のSNSを活用したコミュニティ田代づくり



\*1) SNS とは友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、インターネットを活用した会員制のサービスのこと。

\*2) フェイスブックとは、SNS の中でも、実名で、現実の知り合いとインターネット上でつながり、交流をするサービス。世界最大のユーザー数を誇り、2012 年 1 月現在、8 億人以上のユーザーがいるといわれ、実名での登録が義務づけられている。

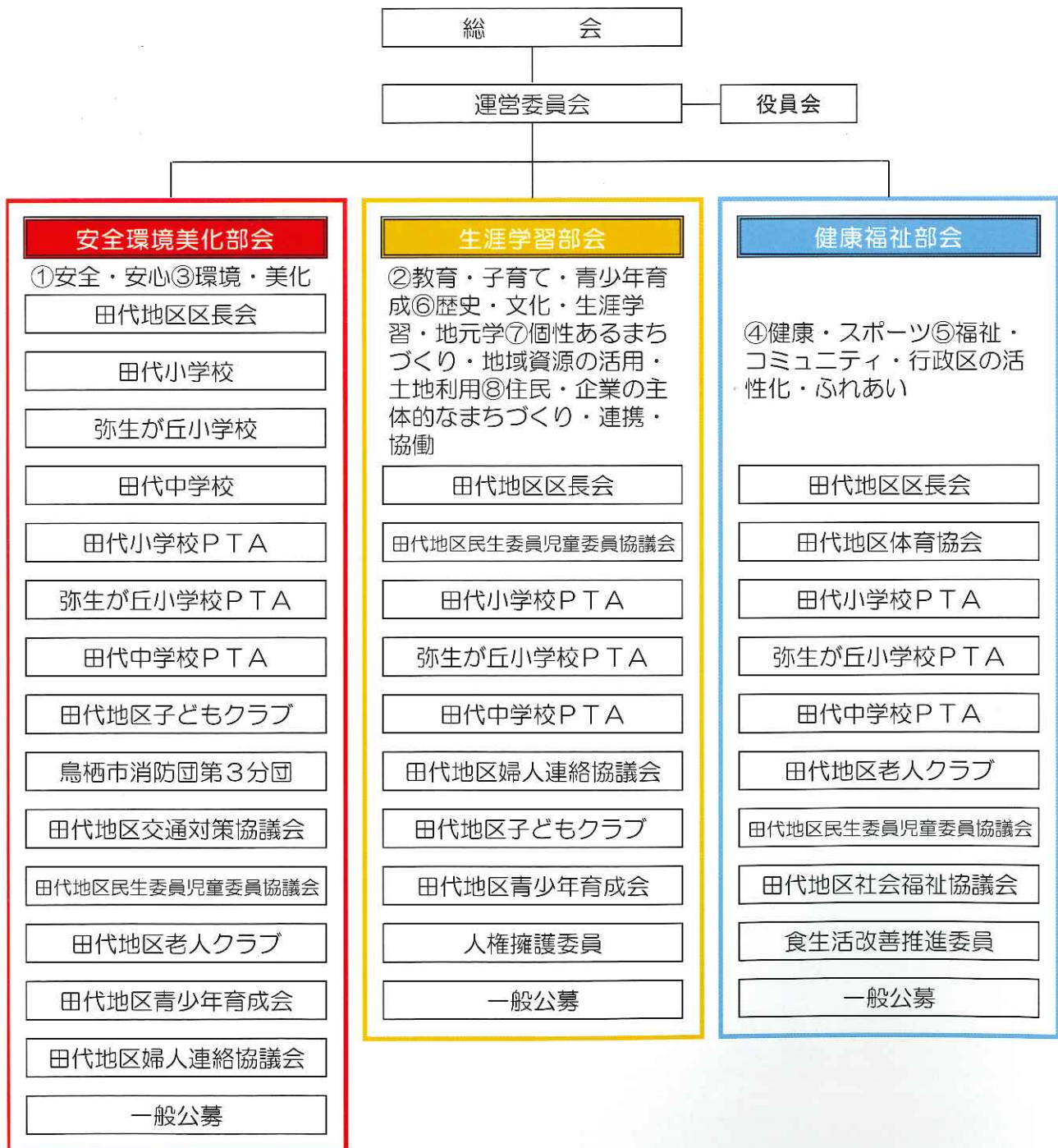


## 6 まちづくり推進計画推進体制

田代地区まちづくり推進計画の推進は、現在の田代地区まちづくり推進協議会の組織を基本とします。

ただし、必要があれば、今後のまちづくり活動の進捗に応じて、活動に適した組織の見直しを行います。

### 《田代地区まちづくり推進協議会組織図》



まちづくり推進計画一覧表

テーマ	事業名等	時期			担当部会名
		短期 H24~H26	中期 H27~H30	長期 H31~H33	
みんなで支え合い 安全・安心な田代 を創ろう！	交通安全推進事業	●	↑	↑	安全環境美化部会
	防災関連推進事業	●	↑	↑	
	防犯関連推進事業	●	↑	↑	
	暮らしの安全安心推進事業	●	↑	↑	
顔の見える絆で賑 わいのある田代を 創ろう！	あいさつ運動推進事業	●	↑	↑	安全環境美化部会
	にこにこふれあい交流事業	●	↑	↑	
	田代の行事・イベント活性化事業	●	↑	↑	健康福祉部会
	健康づくり推進事業	●	↑	↑	
笑顔で心身ともに 健康で暮らせる田 代を創ろう！	スポーツ推進事業	●	↑	↑	健康福祉部会
	食育推進事業	●	↑	↑	
	笑顔推進事業	●	↑	↑	
	地域の匠マイスター事業	●	↑	↑	
生涯を通じ楽しく 学べる田代を創ろ う！	趣味や特技を活用したまちづくり事業	●	↑	↑	生涯学習部会
	歴史・文化を活用したまちづくり事業	●	↑	↑	
	地元学推進事業	●	↑	↑	
	伝統・文化継承事業	●	↑	↑	
地域で子どもたち を守り育てる田代 を創ろう！	おじい・おばあの知恵袋事業	●	↑	↑	生涯学習部会
	伝承遊び事業	●	↑	↑	
	地域子育て支援事業	●	↑	↑	
	にこにこあいさつ推進事業	●	↑	↑	
	地域の宝育成事業	●	↑	↑	
	子ども健康づくり推進事業	●	↑	↑	
環境にやさしい美 しい田代を創ろ う！	環境美化モラルアップ推進事業	●	↑	↑	健康福祉部会
	地域一斉清掃事業	●	↑	↑	
	景観向上事業	●	↑	↑	
	重点事業	●	↑	↑	

※ 重点事業

まちづくり推進計画策定までの経過

《会議経過》

平成23年6月の設立総会以降、総会3回、役員会9回、運営委員会4回、策定委員会9回、専門部会21回、計47回の会議を実施した。

◆総会（規約制定・改廃、事業計画・事業報告、予算・決算、役員）

日程	会議名	会議内容
6月18日	設立総会	規約、運営細則、運営体制、事業計画・予算、役員
11月21日	臨時総会	推進計画、チャレンジ活動事業・予算
平成24年 5月14日	定期総会	事業報告、決算、役員選出、規約改正、事業計画、予算、推進計画の承認

◆役員会（運営委員会付議事項、委員承認）

◆策定委員会（計画骨子作成、運営委員会・専門部会からの意見集約）

日程	会議名	会議内容
7月4日	第1回役員会	運営委員会・専門部会開催、推進計画策定委員会設置、一般公募
8月24日	第1回策定委員会	推進計画作成、スケジュール、住民アンケート
8月30日	第2回策定委員会	アンケート実施、推進計画作成
9月21日	第3回策定委員会	地域現況マップづくり
10月18日	第4回策定委員会	主要課題、チャレンジ活動事業検討
11月8日	第5回策定委員会	専門部会の報告、チャレンジ活動事業検討、運営委員会及び臨時総会の議案、各団体事業調査
12月1日	第6回策定委員会	テーマ別事業検討
1月12日	第7回策定委員会	チャレンジ事業検討
2月14日	第8回策定委員会	チャレンジ事業報告、テーマ別事業検討、平成24年度事業検討
3月6日	第9回策定委員会	推進計画内容検討、平成24年度事業検討

※第1～9回策定委員会は、役員会と同時開催



◆運営委員会（総会付議事項、企画運営・啓発、専門部会提案事項、細則改正）

日程	会議名	会議内容
7月19日	第1回運営委員会	食生活改善推進委員会・人権擁護委員の参画、推進計画策定委員会設置、一般公募、部会長・副部会長・庶務の選出
11月14日	第2回運営委員会	推進計画、各種団体事業調査、チャレンジ活動事業
12月12日	第1回実行委員会	【チャレンジ事業】 まちあるきウォークラリー
1月19日	第2回実行委員会	【チャレンジ事業】 まちあるきウォークラリー

※第1～2回実行委員会は、運営委員会を充て開催

◆専門部会

○安全環境美化部会、生涯学習部会、健康福祉部会

日程	会議名	会議内容
7月19日	第1回専門部会	食生活改善推進委員会・人権擁護委員の参画、推進計画策定委員会設置、一般公募、部会長、副部会長、庶務の選出
8月29日	第2回専門部会	推進計画作成、スケジュール、住民アンケート
9月28日	第3回専門部会	主要課題、チャレンジ活動事業検討
10月12日 ～ 10月26日	第4回専門部会	主要課題、チャレンジ活動事業検討
11月21日	第5回専門部会	テーマ別事業の検討、チャレンジ事業
2月28日	第6回専門部会	チャレンジ事業報告、テーマ別事業検討、平成24年度事業検討
3月19日	第7回専門部会	推進計画内容検討、平成24年度事業検討

《編集協力》 鳥栖市、(株)まちづくり計画研究所

《表紙》 村山 直子さん

《歴史寄稿》 藤瀬 禎博さん

《挿絵》 藤田 新東さん

轟木 昭子さん、豊増キクエさん

《写真》 熊田 友豪さん

《印刷》 (有)久光印刷



10年後の田代地区の絵（最優秀賞）  
熊添 萌さん（田代小）

《編集・発行》平成24年8月発行  
田代地区まちづくり推進協議会  
〒841-0017  
鳥栖市田代大官町1958番地  
田代まちづくり推進センター内（田代公民館）  
TEL・FAX：0942-82-2704  
E-mail：tasicc01@kumin.ne.jp  
ホームページ：http://www.kumin.ne.jp/tasicc01